

インタラクティブ・ユニット eB-P & e-黒板アシスタント



株式会社 内田洋行

ICTシステムサポート部

■本書に記載されている製品は一般に各社の登録商標または商標です。■

【目次】

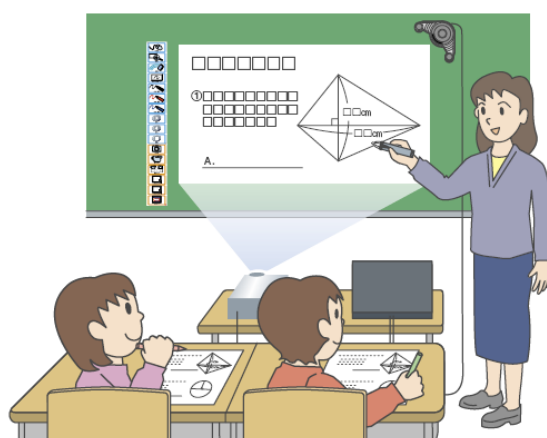
1	『e-黒板アシスタント』とは・・・	1
1-1	主な特徴	1
1-2	動作環境	2
2	設置・準備	3
2-1	機器の準備	3
2-2	使い方の基本的な流れ	4
2-3	設置・準備	6
3	操作シートをつかってみよう	11
3-1	機能一覧	11
3-2	「e-黒板アシスタント」の起動	12
	MEMO	13

1 『e-黒板アシスタント』とは・・・

「e-黒板アシスタント」は、電子情報ボード（e-黒板）となるインタラクティブユニット（以下ユニット）をより使いやすく、効率的に活用するための（アシスタントするための）ソフトウェアです。

ユニットは、ボード（黒板）上にコンピュータ画面を投影し、付属のペン等でボード（黒板）上から画面を操作できる装置です。先生はパソコンの前ではなく、説明している画面のそばに立ちながら自然に授業を行うことができます。

これに「e-黒板アシスタント」を付け加えることによって、さらに書込みや板書、教材提示の機能が豊富になり、画像の保存なども可能になります。「e-黒板アシスタント」をお使いいただくことで、さらに授業の幅が広がります。



1-1 主な特徴

● ユニットをより効果的に使いやすく

マーキング・拡大・保存など豊富な機能によって、ユニットをより効果的に使いやすくします。

● 外部操作シートによる簡単ボタン操作

操作シートをパソコン画面の外に出すことによって、画面の邪魔にならず、より操作しやすい環境を実現しました。提示した教材やコンテンツが操作ボタン等で隠されてしまうこともなく、マーキングの際にも全く気にせずに書き込みができます。

● マーキングや拡大機能によって、より効果的な授業実践を支援

ペン機能・消去機能により表示された画面への書き込みや消去が可能です。
また、指定された範囲の拡大等により、「伝わる」「わかる」授業を支援します。

● 授業内容の記録・再生も可能

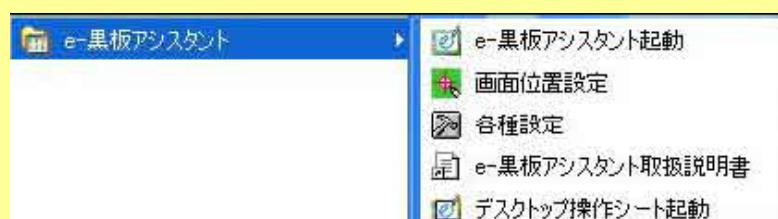
提示されたパソコン画面を記録・保存することができます（静止画・動画）。
板書を保存して振り返りに活用したり、パソコンの操作等を動画で保存して教材として活用することもできます。

1-2 動作環境

ユニットを接続するパソコンに「e-黒板アシスタント」をインストールしておきます。

※ インストールされているパソコンには、次のショートカットとアイコンがパソコンに登録されています。

- (1) 「スタート」メニューの「すべてのプログラム」中に、
下図のように「e-黒板アシスタント」のフォルダができ、
その中に「e-黒板アシスタント起動」「画面位置設定」「各種設定」
「e-黒板アシスタント取扱説明書」「デスクトップ操作シート起動」が作られます。



- (2) デスクトップ上に、
下図のように e-黒板アシスタント起動用のアイコンが作られます。



2 設置・準備

2-1 機器の準備

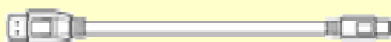
使用機器



① インタラクティブ ユニット
(マグネットブラケットつき)



② マウスペン
※ 単三電池



③ USB ケーブル

④ 外部操作シート



⑤ パソコン



⑥ プロジェクタ
※ 電源ケーブル



⑦ RGB ケーブル



2-2 使い方の基本的な流れ

STEP1：インタラクティブユニットの設置・準備

- パソコンとプロジェクタを接続します。(パソコンの画面を投影します。)
- パソコンとユニットを接続します。
- 「e-黒板アシスタント」の外部操作シートをユニットの横部に貼り付けます。

外部操作シート

黒板に貼り付ける操作ボタンを並べたシートで、「e-黒板アシスタント」の各機能をこのボタンをクリックすることで実行することができます。

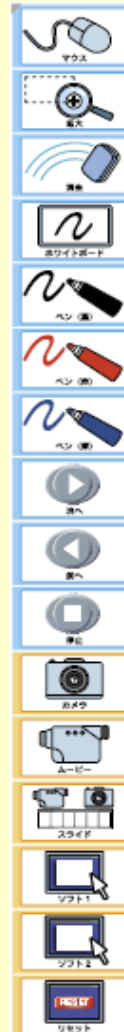
「標準」(青色と黄色を組み合わせたシート)と「簡易」(青色のシート)の2種類の操作シートがあります。

● 簡易操作シート



ホワイトボード機能(板書)を中心とした従来の黒板的な機能を集めたものです。
また、マウスボタンをクリックしてパソコンを操作したり、マーキングや拡大などができます。

● 標準操作シート



簡易操作シートの機能に加え、カメラ・ムービー・スライドなどのパソコン画面の記録再生機能や、先生方が使いたいソフトをボタンに登録し起動できる機能を備えています。

STEP2：画面位置の設定

- 画面位置の設定（キャリブレーション）を行います。

画面位置設定

パソコン画面とボード（黒板）上の位置とを対応させる操作です。キャリブレーションと言います。使い始めや、ユニットやプロジェクタ、外部操作シートの位置が変わった時に行います。

STEP3：「e-黒板アシスタント」の起動

- 「e-黒板アシスタント」プログラムを起動します。
 - ※ 画面位置の設定を行うと、通常、自動起動しますので必要に応じて行ってください。
- ・ ボード（黒板）上から、パソコンを操作することができます
- ・ ペン機能を使って、ボード（黒板）上に書き込みができます。
- ・ 書かれた内容の保存（静止画・動画）ができます。

STEP4：「e-黒板アシスタント」の終了

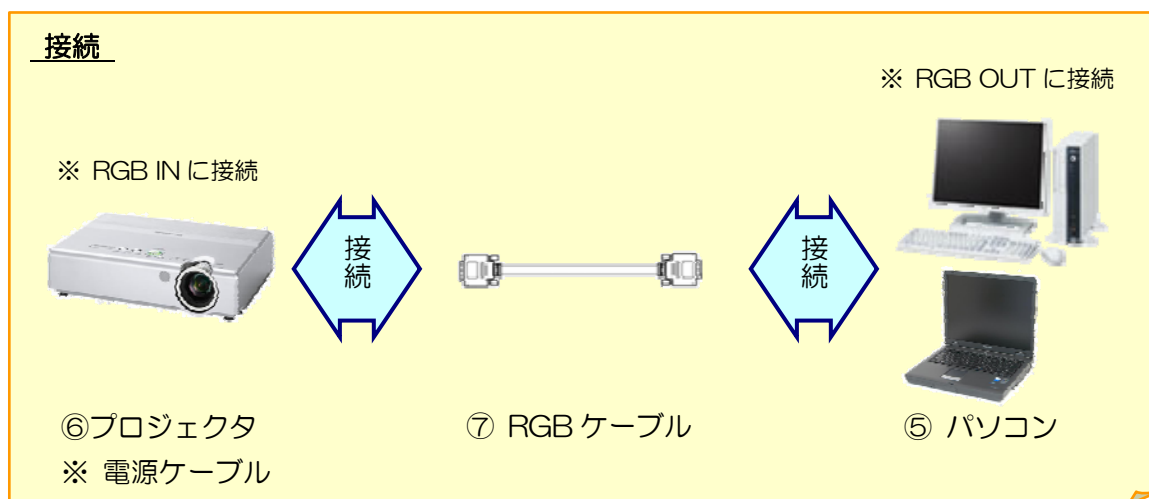
- 「e-黒板アシスタント」プログラムを終了します。

2-3 設置・準備

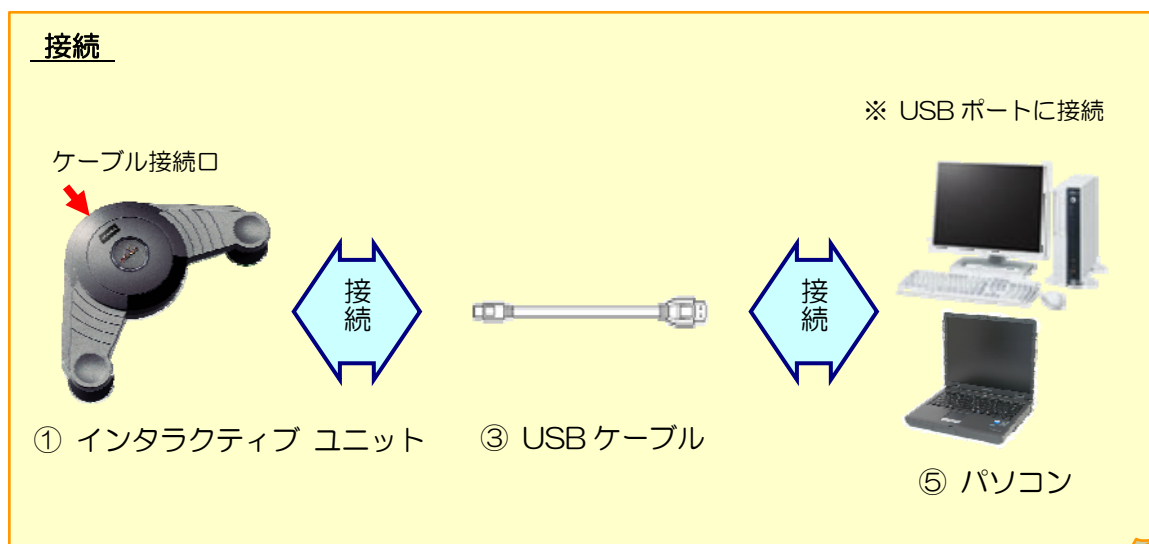
STEP1： インタラクティブユニットの設置・準備

(1) 「e-黒板アシスタント」をインストールしたパソコンと、プロジェクタ等の画面投影装置を接続します。

(詳しくは、プロジェクタ等の取扱説明書中のパソコンとの接続方法に関する説明をご覧ください。)

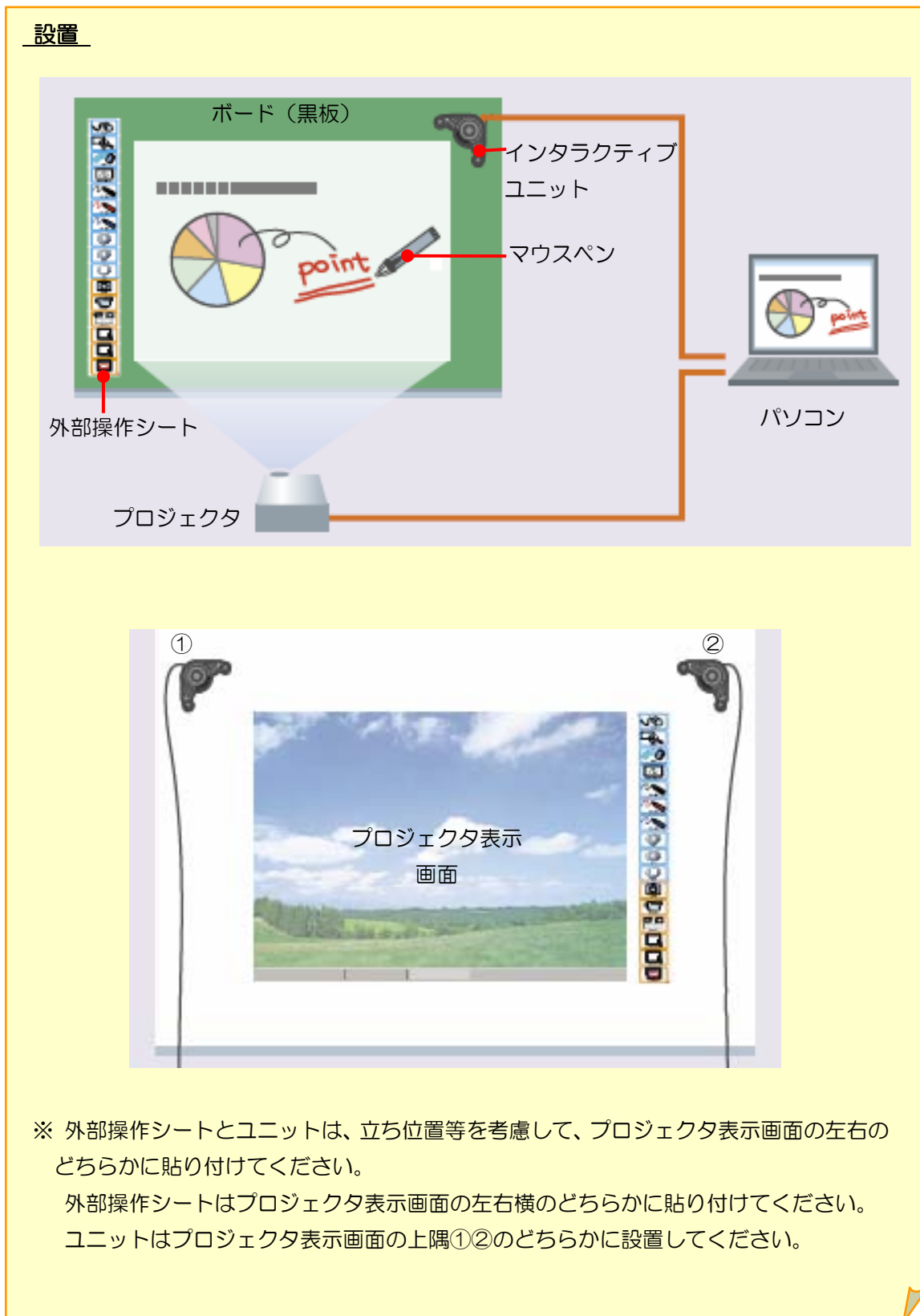


(2) 「e-黒板アシスタント」をインストールしたパソコンと、ユニットを接続します。



(3) 投影された映像の横部に、ユニットと「e-黒板アシスタント」外部操作シートを貼り付けます。

※ インタラクティブユニットの有効範囲（W1800×H1200mm）の中に外部操作シートを貼り付け、パソコンの画面を投影してください。

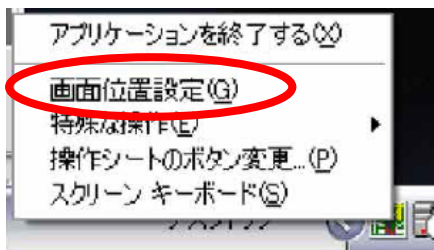


STEP2：画面位置の設定

画面位置設定プログラムの起動を行いましょう。

(1) 「e-黒板アシスタント」がインストールされたパソコンで次を実行します。

「スタート」⇒「すべてのプログラム」⇒「e-黒板アシスタント」⇒「画面位置設定」

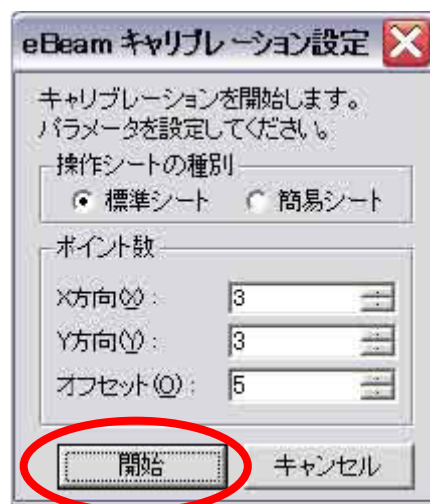


※ 「e-黒板アシスタント」プログラムが起動している状態であれば、左図のように、タスクトレイの「e-黒板アシスタント」アイコンのクリックメニューから、いつでも「画面位置設定」を行えます。

⇒ 「eBeam キャリブレーション設定」ウィンドウが開きます。

(2) 黒板に貼り付けた操作シートが

「標準シート」「簡易シート」かのどちらかを確認して、該当する方をチェックしてください。



※ 画面上の位置を指定するポイント数は、

デフォルトでX方向、Y方向とも「3」に設定されており、合計9箇所です。

(3) **開始** ボタンをクリックします。

⇒ 画面位置設定の画面が表示されます。

マウスペンを用意しておきましょう。

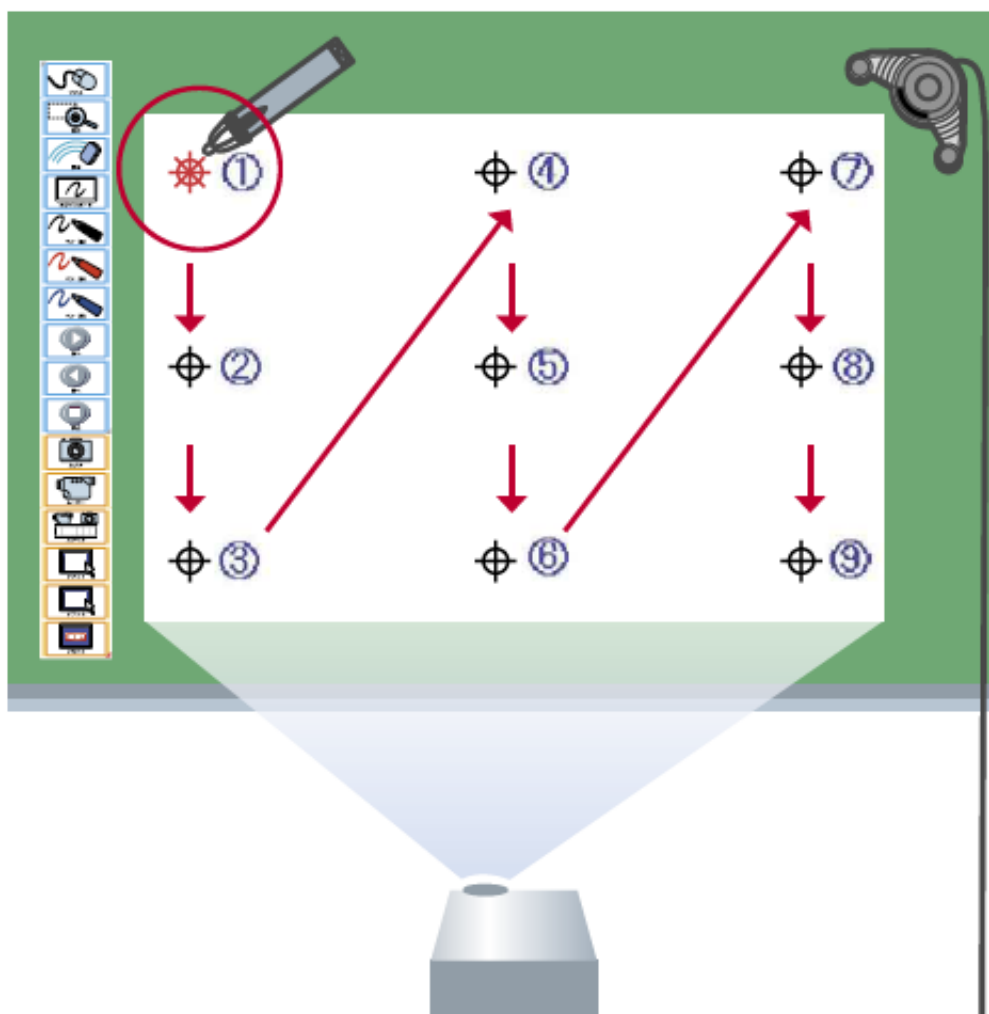
画面位置の指定を行きましょう。

下図のような画面位置設定の画面が表示されますので、画面位置の指定を行います。

(1) プロジェクタの投影画像の中の赤い位置マークをマウスペンで押します。

※ 9点の場合、赤い位置マークは画面の左上から右下まで（図の丸数字の順で）移動します。

押す度に赤い位置マークが移っていくので、1つ1つ順番に押していきます。（①～⑨）



⇒ これで、投影された画像とパソコン画面の位置決め（キャリブレーション）が行なわれました。

● 操作を画面の位置決め（キャリブレーション）の途中でうまく指定できなかった時は、
パソコンのキーボードの [Back space] キーを押してください。このキーを押す度に、入力位置を示す赤い位置マークが一つ前に戻ります。（ペンの中央ボタンでも可能です。）また、[ESC] キーで画面位置設定プログラムを終了させることができます。この場合、画面位置の設定は前の状態に戻ります。

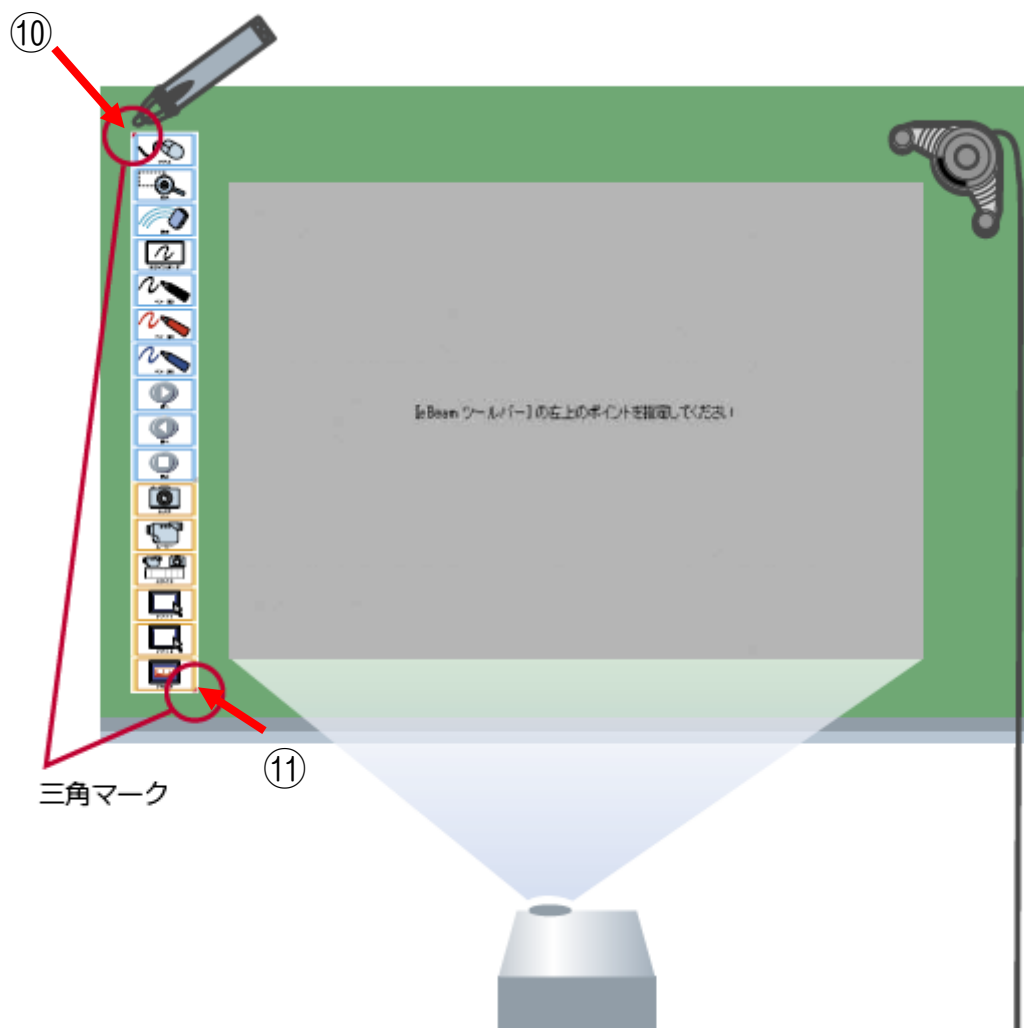
● ユニットが接続されていない等の理由で画面位置設定の画面に移行できない場合、
『eBeam との接続を確認してください。ESC キーを押すと終了します。』というメッセージが表示されます。ESC キーを押してプログラムを終了し、接続を確認してから、もう一度「画面位置の設定-画面位置設定プログラムの起動」からやり直してください。

2 設置・準備

外部操作シート位置の指定を行いましょう。

画面位置の指定に続いて、「e-黒板アシスタント」外部操作シートの位置を指定します。

- (1) 画面中央に表示される指示に従い、外部操作シートの「左上の三角マーク」、(→⑩)
- (2) そして「右下の三角マーク」(→⑪) をマウスペンで押してください。








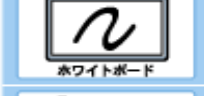












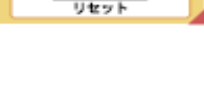
⇒ マウスペンでパソコンのクリックダブルクリック等の操作が、ボード（黒板）上で行えるようになりました。

※ 通常、最初に画面位置設定を行った場合、設定終了と同時に自動的に「e-黒板アシスタント」プログラムが起動します。

「e-黒板アシスタント」が起動していない場合は、「3-2 STEP：3」の操作を行ってください。

3 操作シートを使ってみよう

3-1 機能一覧

	マウス	このボタンを押すと、カーソルが通常のマウスカーソルになり、パソコンを操作できるようになります。
	拡大	このボタンを押すと、カーソルが  に変わり、指定範囲を拡大することができます。このボタンをもう一度押すと、拡大表示は終了します。
	消去	このボタンを押すと、カーソルが  に変わり、ペンで書き込んだ内容を消去できます。
	ホワイトボード	このボタンを押すと、スクリーン全面が自由な書き込みボードになります。ツールバーも表示され、素材などが利用できます。(終了は「停止」ボタン)
	ペン (黒)	このボタンを押すと、パソコンのマウスカーソルが  に変わり、パソコンの画面をマーキングできます。また、マウスペンの中央ボタンを押しながら、このボタンを押すと、太いペンになります。
	ペン (赤)	
	ペン (青)	
	次へ	このボタンを押すと、次の画面に切り替わります。
	前へ	このボタンを押すと、前の画面に切り替わります。
	停止	このボタンを押すと、各種操作を終了します。 (ホワイトボード・スライド・PowerPoint®スライドショー マーキングモード・拡大)
	カメラ	このボタンを押すと、その時のパソコン画面を所定のフォルダに保存します。(ホワイトボードの画像を保存したい場合もこちらをご利用ください。)
	ムービー	このボタンを押すと、パソコン画面の録画を開始します。録画中にこのボタンを押すと録画を終了します。
	スライド	このボタンを押すと、スライド表示ウィンドウ(スライドビューア)が開き、「カメラ」および「ムービー」で保存した静止画・動画を見ることができます。
	ソフト1	このボタンを押すと、登録したソフトが起動します。 (登録方法は取り扱い説明書を参照ください。)
	ソフト2	
	リセット	e-黒板アシスタントプログラムをリセット(再起動)します。

・ホワイトボードの送り・戻し
・スライド(静止画の再生)の送り・戻し
・PowerPoint®スライドショーの送り・戻し

3 操作シートを使ってみよう

3-2 「e-黒板アシスタント」の起動

最初に画面位置設定を行った場合、設定終了と同時に自動的に「e-黒板アシスタント」プログラムが起動します。

「e-黒板アシスタント」が起動していない場合 または、手動で起動させる場合は、以下を実行してください。

STEP3：「e-黒板アシスタント」の起動

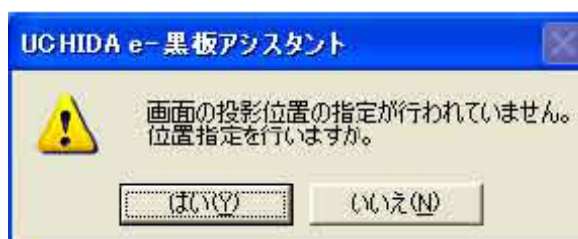


(1) 以下のいずれかの方法で「e-黒板アシスタント」プログラムを起動します。

- デスクトップ上の「e-黒板アシスタント起動」アイコンをダブルクリックします。
- 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「e-黒板アシスタント」→「e-黒板アシスタント起動」をクリックします。

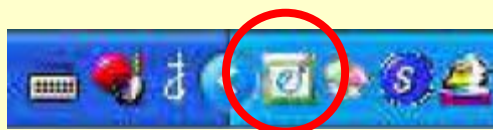


※ この時、ユニットが接続されていなかったり、他のソフトが電子情報ボードを使っている時は、左のように表示されます。該当するソフトを終了してから、あらためて「e-黒板アシスタント」を起動してください。



※また、初めて使う時に画面位置設定（キャリブレーション）をせずに起動すると、左のように表示されます。「はい」を押して、画面の位置決め（キャリブレーション）を行ってください。

- 「e-黒板アシスタント」が起動している時は、パソコンの画面右下のインジケータにアイコンが表示されています。



右クリックして表示したメニューより、「画面位置調整」や「アプリケーションの終了」等を行うことができます。

MEMO

e-黒板アシスタント

■ 本書に記載されている製品は一般に各社の登録商標または商標です。 ■